

# 2024年3月期 第3四半期 決算説明会資料

2024年2月21日



証券コード：4461（東証プライム）  
第一工業製薬株式会社

# 本日のアジェンダ



- 1. 2024年3月期 第3四半期 連結決算** **P.3**
- 2. 短期の見通しと取り組み** **P.16**
- 3. 2030年に向けたシナリオ** **P.28**

# 1. 2024年3月期 第3四半期 連結決算

## 連結 業績の概要（前期比較）



減収減益：販売の落ち込みに加え、原材料価格の高騰が利益を圧迫

（単位：百万円）

	23/3月期 3 Q(4-12月)	24/3月期 3 Q(4-12月)	前期比増減	
			金額	増減率
売上高	49,098	45,634	△ 3,464	△ 7.1%
営業利益	988	529	△ 458	△ 46.4%
経常利益	1,079	556	△ 522	△ 48.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△ 395	299	694	-

減収  売上高：海外向け難燃剤が大きく落ち込む

減益  営業利益：原材料価格の高騰による収益性低下

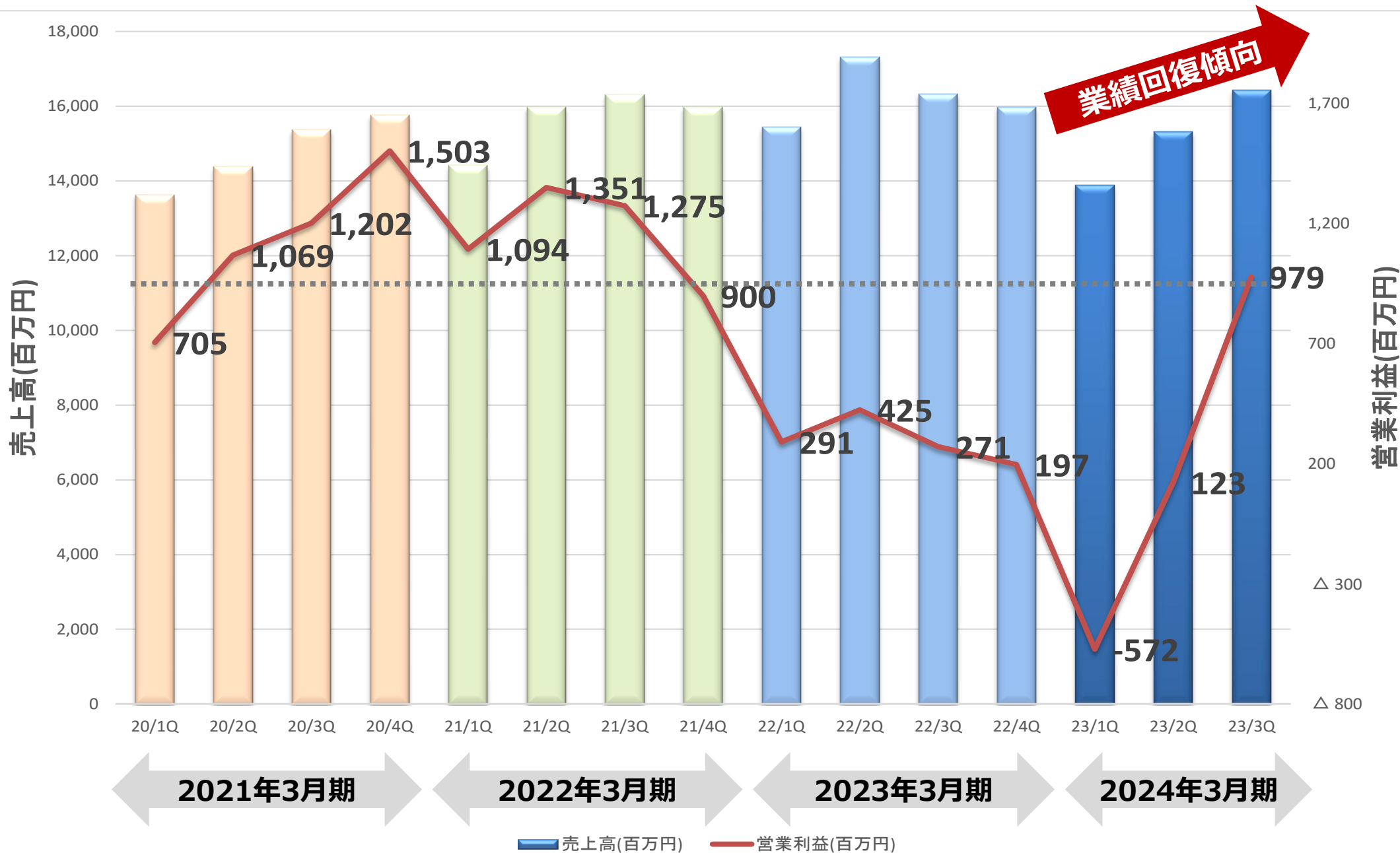
**増収増益**：市況の回復、価格改定及び経費削減による収益性改善

(単位：百万円)

	24/3月期 1Q(4-6月)	24/3月期 2Q(7-9月)	24/3月期 3Q(10-12月)
売上高	13,884	15,316	16,434
営業利益	△ 572	123	979
経常利益	△ 557	178	935
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△ 477	△ 0	778

**増収**  **売上高**：市況回復による需要増加、価格転嫁の進捗

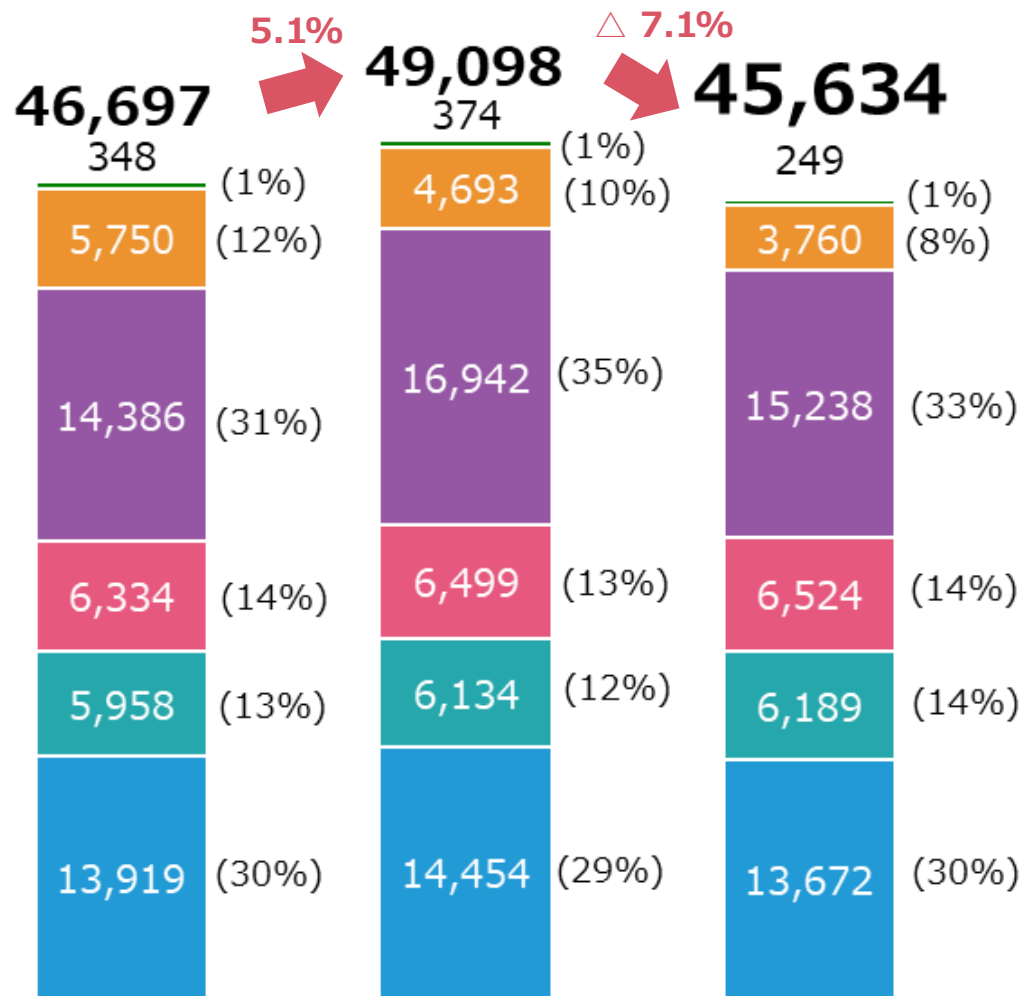
**増益**  **営業利益**：価格改定及び経費削減による収益性改善



# 連結 セグメント別構成比の推移

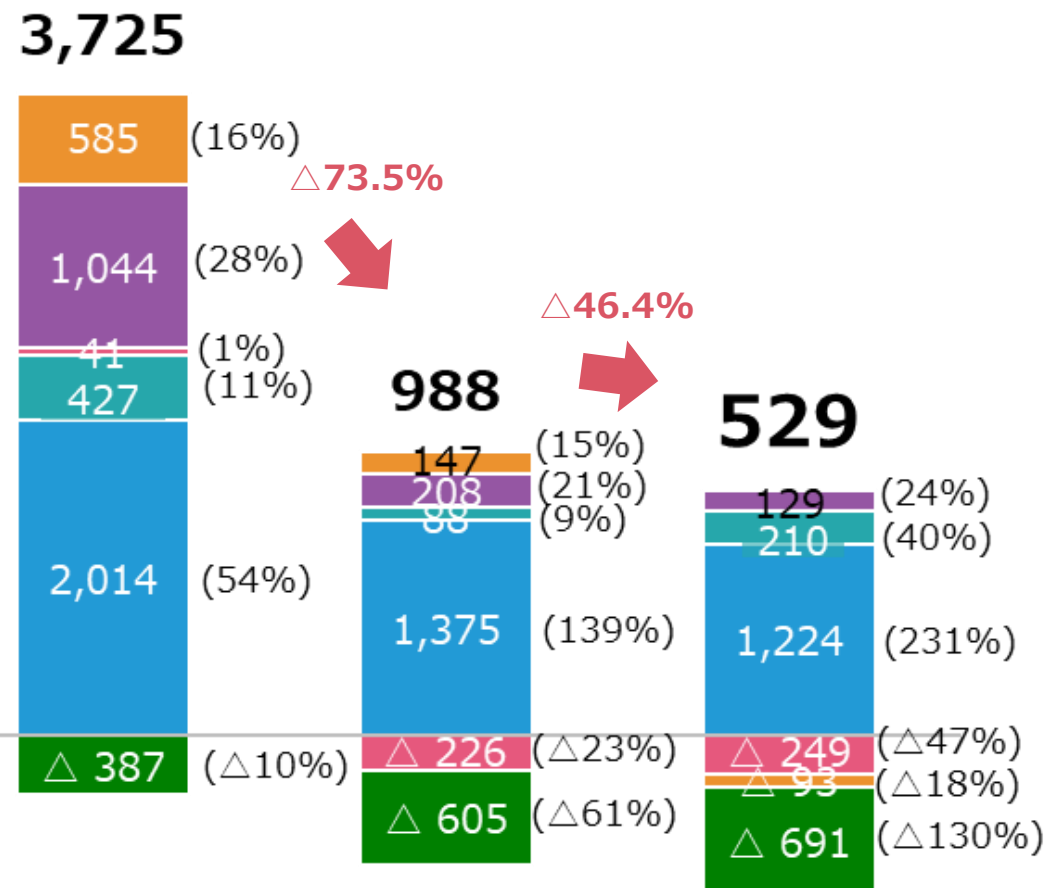


## 売上高



## 営業利益

( ): 構成比  
(百万円)



■ 界面活性剤 ■ アメニティ材料 ■ ウレタン材料 ■ 機能材料 ■ 電子デバイス材料 ■ ライフサイエンス

# 2024年3月期 第3四半期営業利益増減分析



\* 販売数量減少

\* 原材料価格の高騰による値上げ活動

\* 難燃剤の市況悪化による影響額

\* 工場稼働率の改善による経費圧縮

\* 販売活動及び研究開発費などの経費削減

数量効果

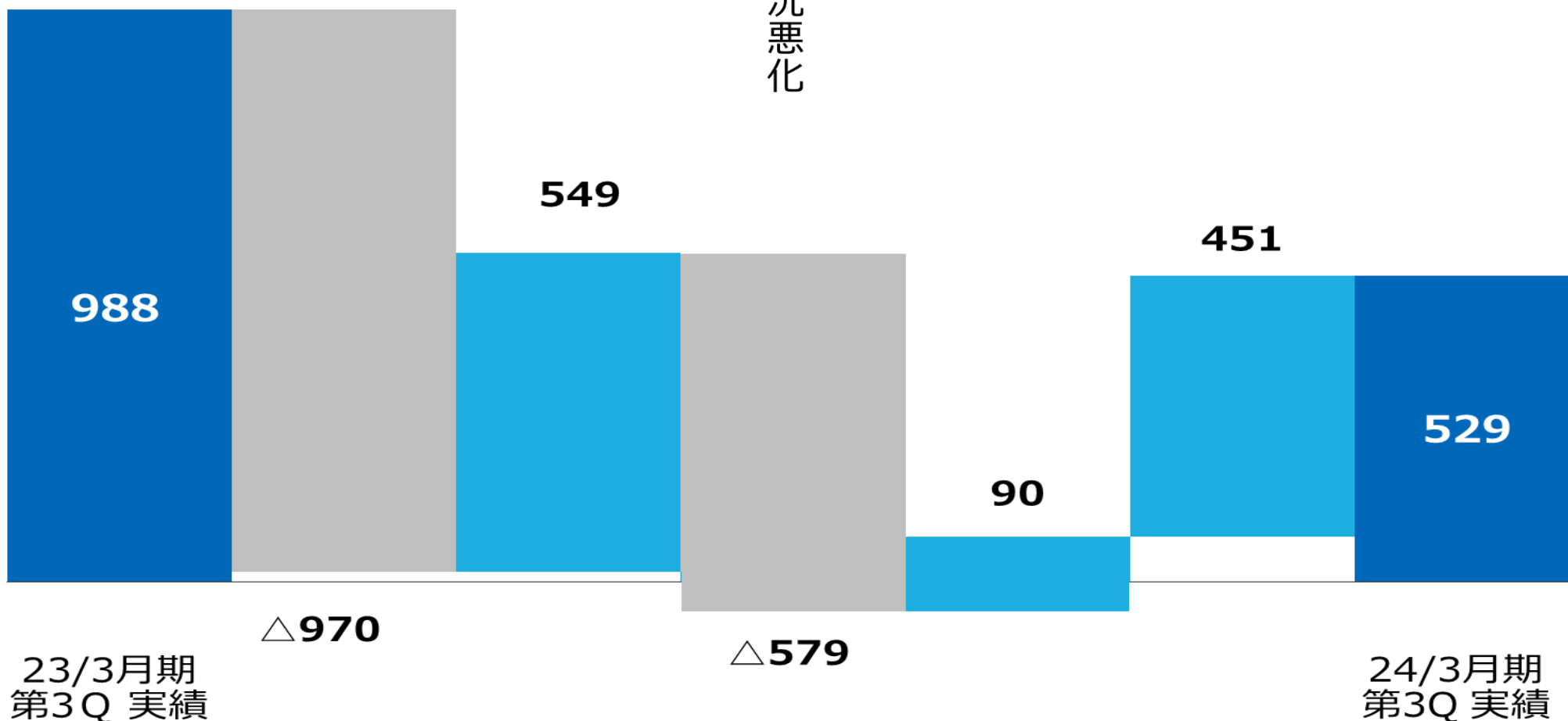
値上げ効果

難燃剤の市況悪化

工費差

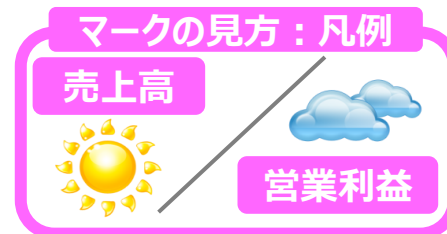
営業経費差

(百万円)

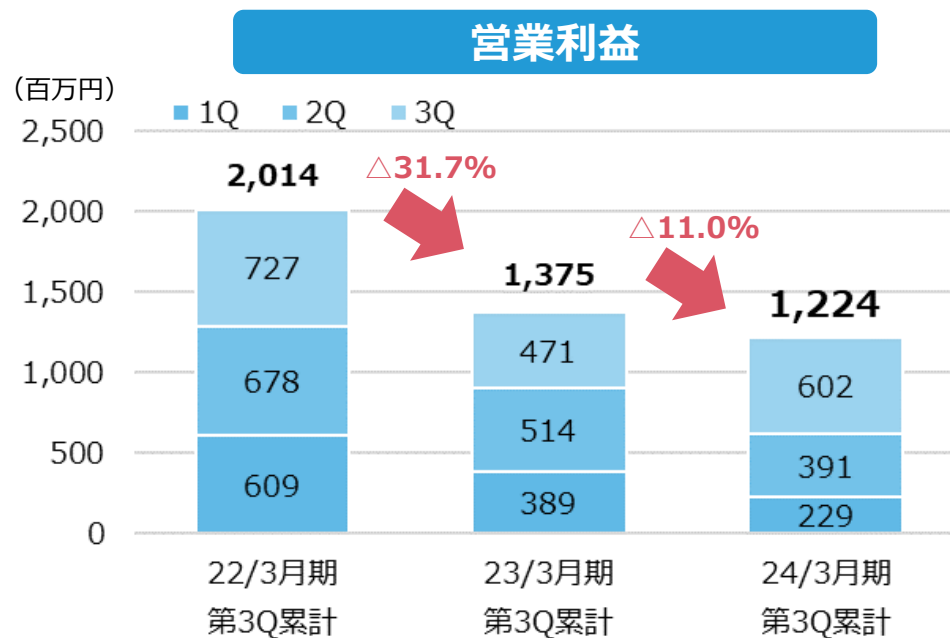
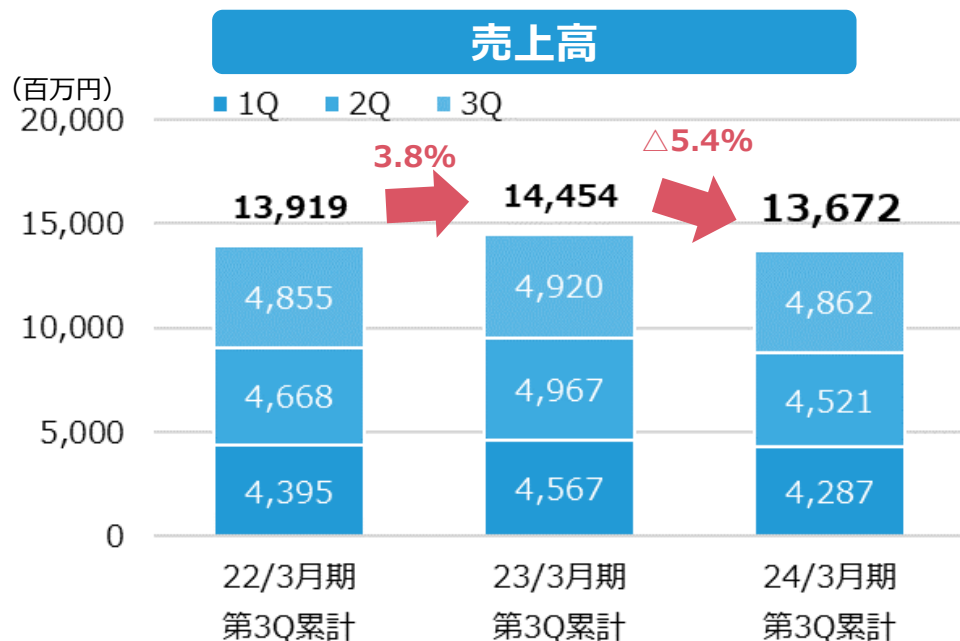




# 連結 セグメント業績 界面活性剤



1909年の創業以来、高機能界面活性剤を提供している事業です。



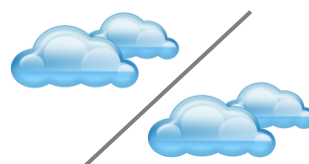
## 売上高：総じて低調に推移

- 塗料・色材用途、ゴム・プラスチック：堅調に推移
- IT・電子材料：低調に推移
- 石けん・洗剤用途：大きく落ち込む

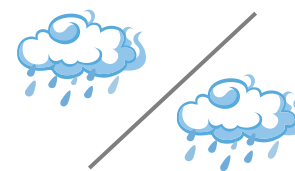
## 営業利益：減益

- 売上高の落ち込み
- 原材料価格の高騰による影響

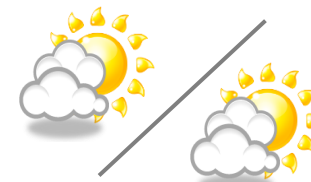
### IT・電子材料用途



### 石けん・洗剤用途



### 塗料・色材



# 連結 セグメント業績 アメニティ材料

マークの見方：凡例

売上高

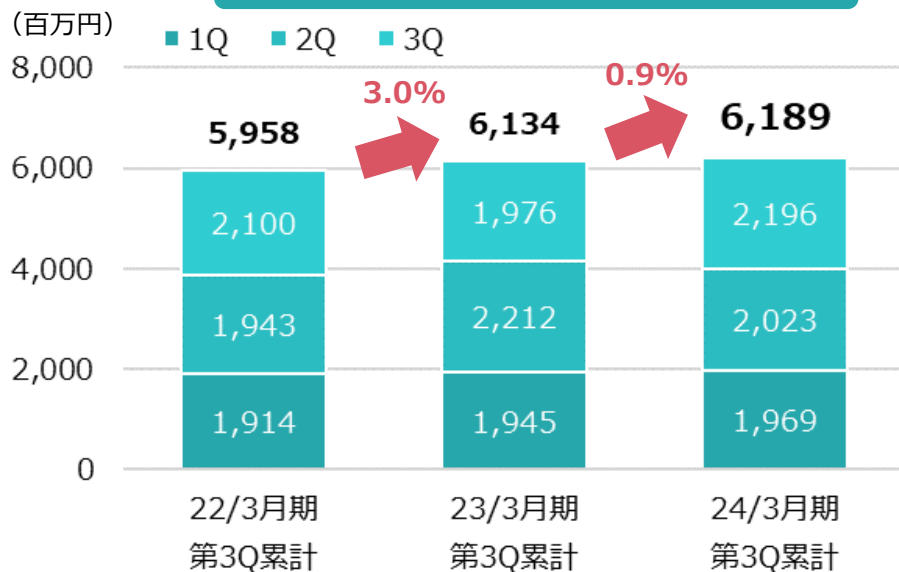


営業利益

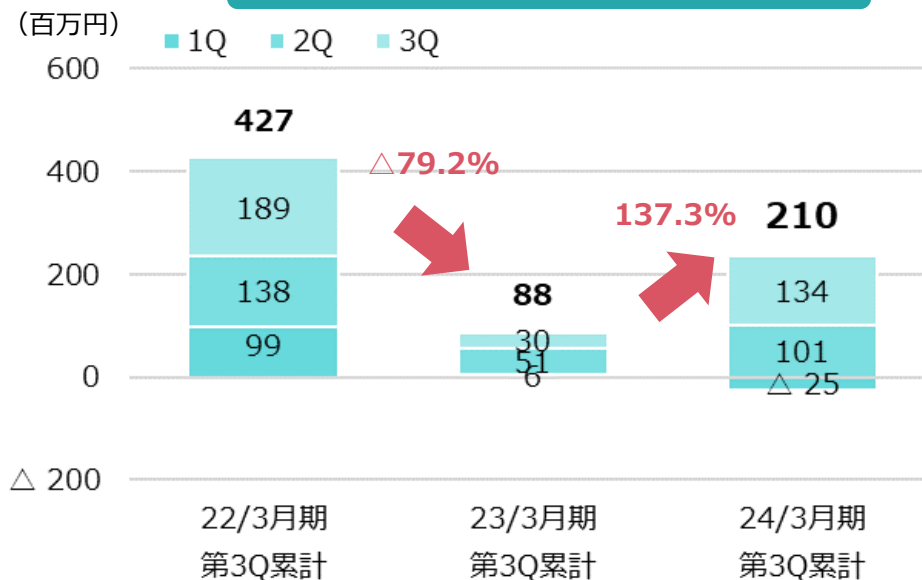


生活環境において快適性を求める材料や周辺応用技術を提供している事業です。

## 売上高



## 営業利益



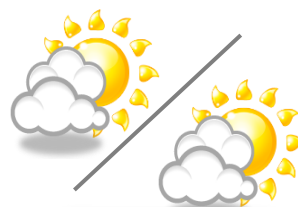
### 売上高：総じて低調に推移

- 食品用途、香粧品用途：シヨ糖脂肪酸エステルは堅調に推移
- I化粧品・環境用途：セルロース系高分子材料は低調に推移

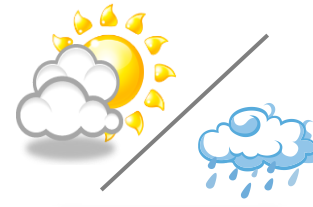
### 営業利益：増益

- 営業経費の削減

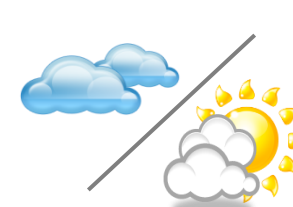
### 香粧品用途



### 食品用途



### エネルギー用途

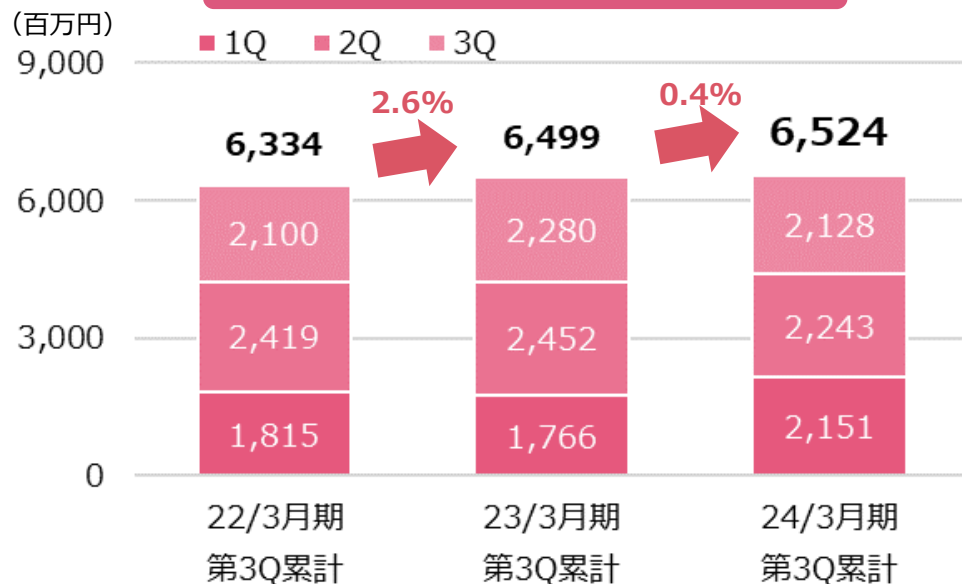




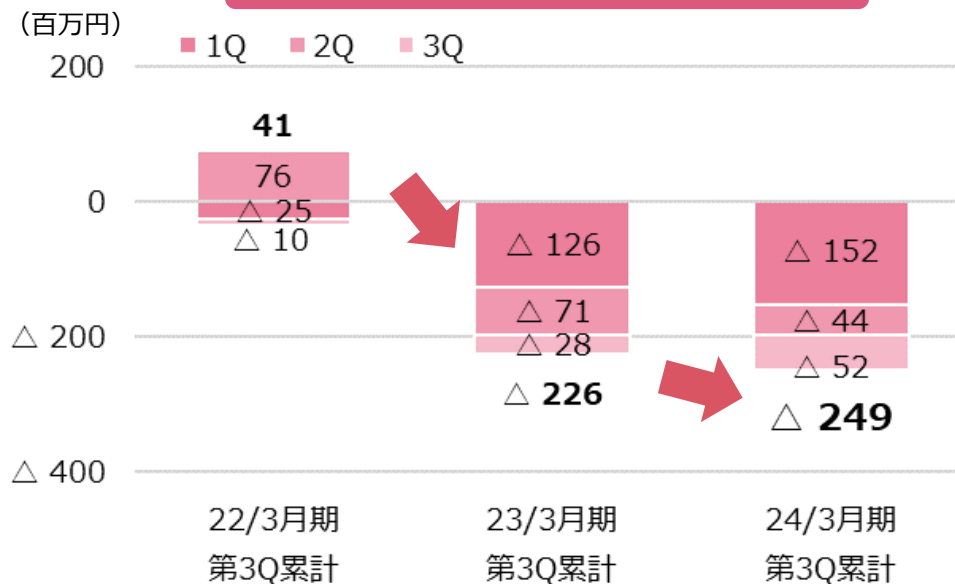
# 連結 セグメント業績 ウレタン材料

土木・建築材料、塗料、接着剤、電気絶縁材料などウレタン用原料を提供している事業です。

## 売上高



## 営業利益



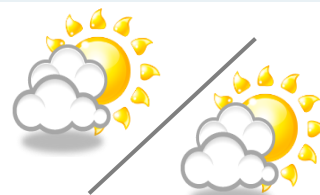
### 売上高：総じて堅調に推移

- IT・電子材料用途：堅調に推移
- 土木薬剤用途：大幅に伸長
- 合成潤滑油：大きく落ち込む

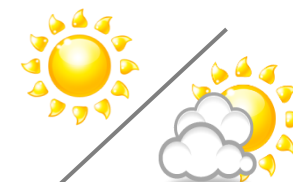
### 営業利益：営業損失

- 原材料価格の高騰による影響

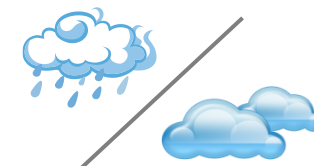
#### IT・電子材料用途



#### 土木用薬剤:岩盤固結



#### 合成潤滑油

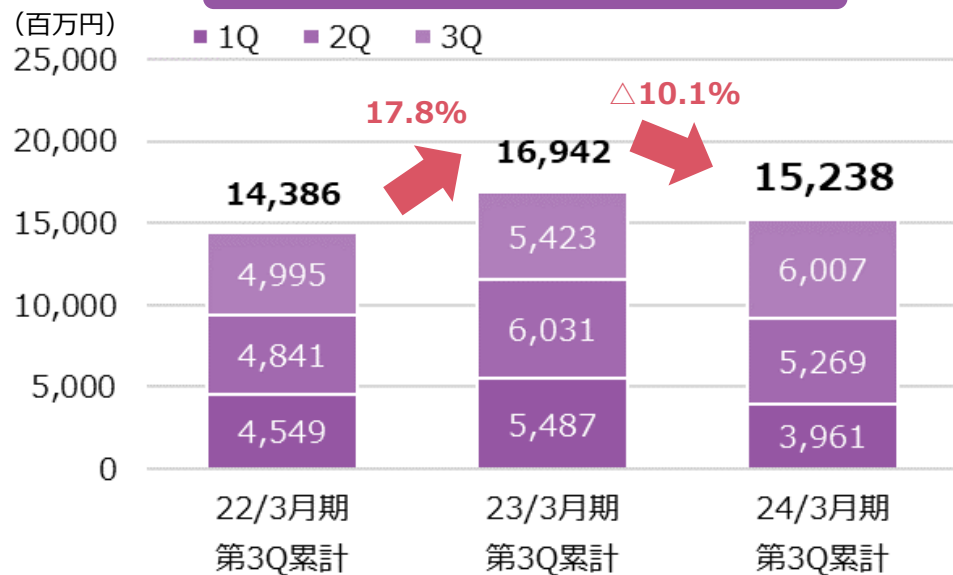




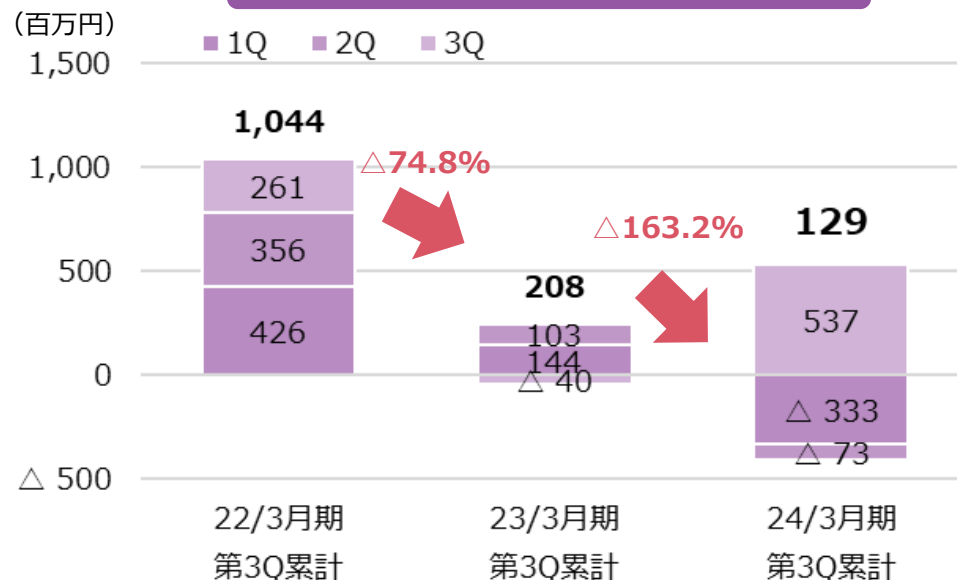
# 連結 セグメント業績 機能材料

家電製品や生活の必需品用途に、難燃剤、光硬化樹脂や水系ウレタン樹脂などの製品を提供している事業です。

売上高



営業利益



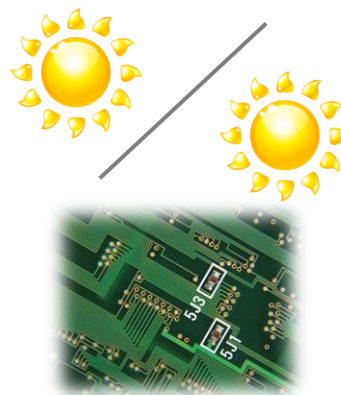
**売上高：総じて大きく落ち込む**

- 電子材料用途：大幅に伸長
- ゴム・プラスチック用途：難燃剤は国内・海外共に大きく落ち込む

**営業利益：減益**

- 売上高の大幅な落ち込み

電子材料用途



プラスチック用難燃剤



# 連結 セグメント業績 電子デバイス材料

マークの見方：凡例

売上高

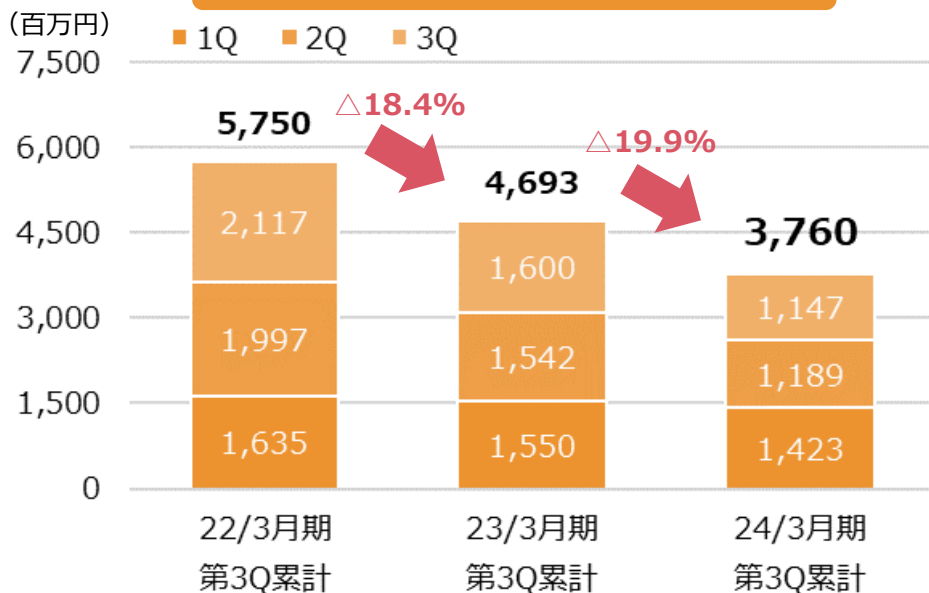


営業利益

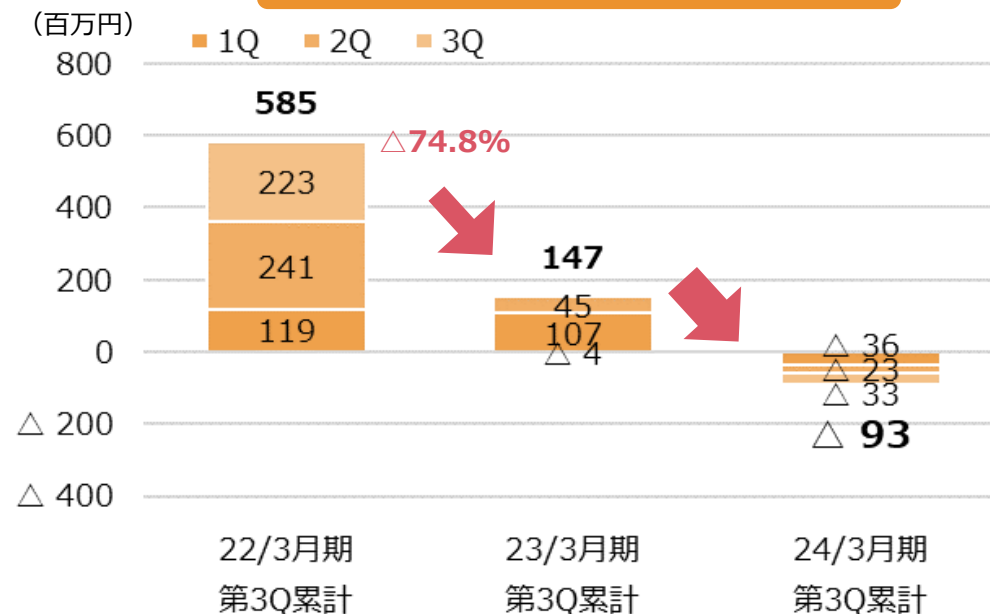


家電や電子部品用途に、セラミックス材料などを提供している事業です。

## 売上高



## 営業利益



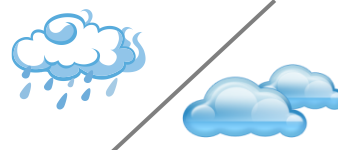
### 売上高：総じて大きく落ち込む

- 太陽電池用途：導電性ペーストは大きく落ち込む
- ディ스플레이用途：イオン液体は堅調に推移

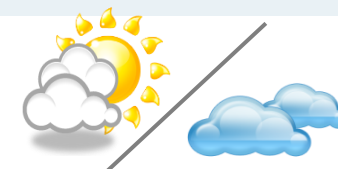
### 営業利益：営業損失

- 売上高の大幅な落ち込み
- 営業経費の増加

### 太陽電池用途



### ディスプレイ用途





# 連結 セグメント業績 ライフサイエンス

マークの見方：凡例

売上高

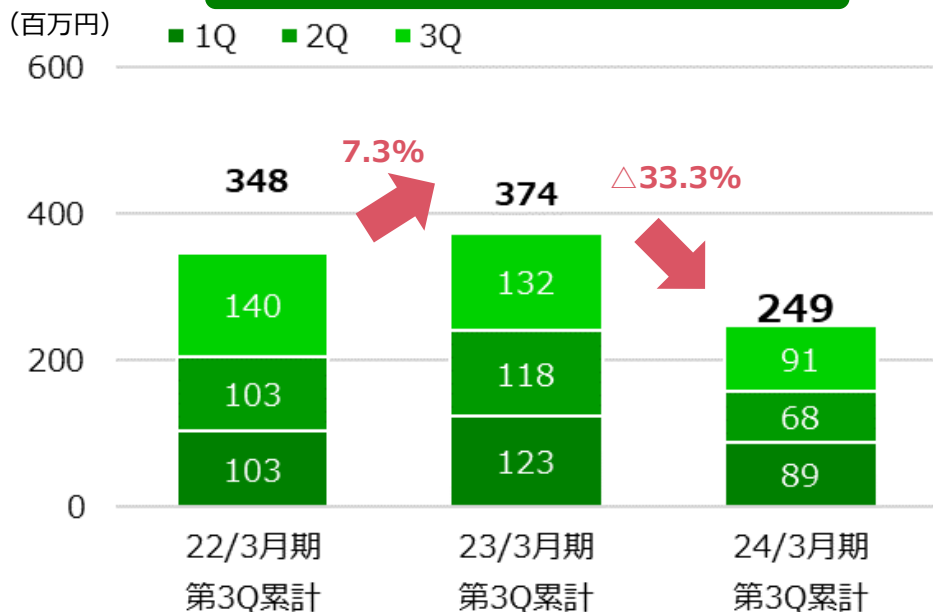


営業利益

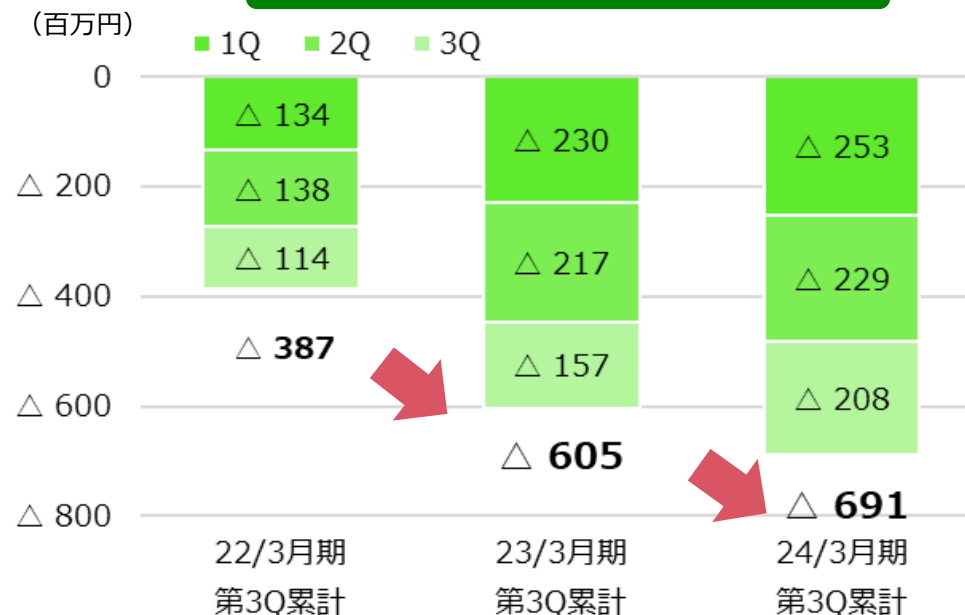


天然由来の健康食品、天然物からの抽出・濃縮・粉末化の技術を提供している事業です。

## 売上高



## 営業利益



**売上高：前期と比べ1億24百万円減少**

- カイコ冬虫夏草：堅調に推移
- 健康食品等の受託事業：低調に推移

**営業利益：営業損失**

- 売上高の落ち込み
- 研究開発費が先行

### 冬虫夏草



### 健康食品等の受託事業



# 連結 連結比較貸借対照表の概要



(単位：百万円)

	2023年 3月末	2023年 12月末	増減額		2023年 3月末	2023年 12月末	増減額
流動資産	45,411	52,870	7,458	流動負債	20,639	24,138	3,498
現預金	9,128	15,078	5,949	仕入債務	10,351	11,916	1,564
売上債権	17,323	19,973	2,650	有利子負債	6,990	8,388	1,398
棚卸資産	16,637	14,566	△ 2,070	その他	3,297	3,832	535
その他	2,322	3,250	928	固定負債	26,089	29,029	2,940
固定資産	39,614	39,790	176	有利子負債	25,479	28,284	2,805
有形固定資産	32,743	32,619	△ 123	その他	609	744	135
無形固定資産	341	313	△ 27	負債合計	46,729	53,167	6,438
投資・その他の資産	6,529	6,857	327	純資産	38,296	39,493	1,196
合 計	85,025	92,661	7,635	負債・純資産合計	85,025	92,661	7,635

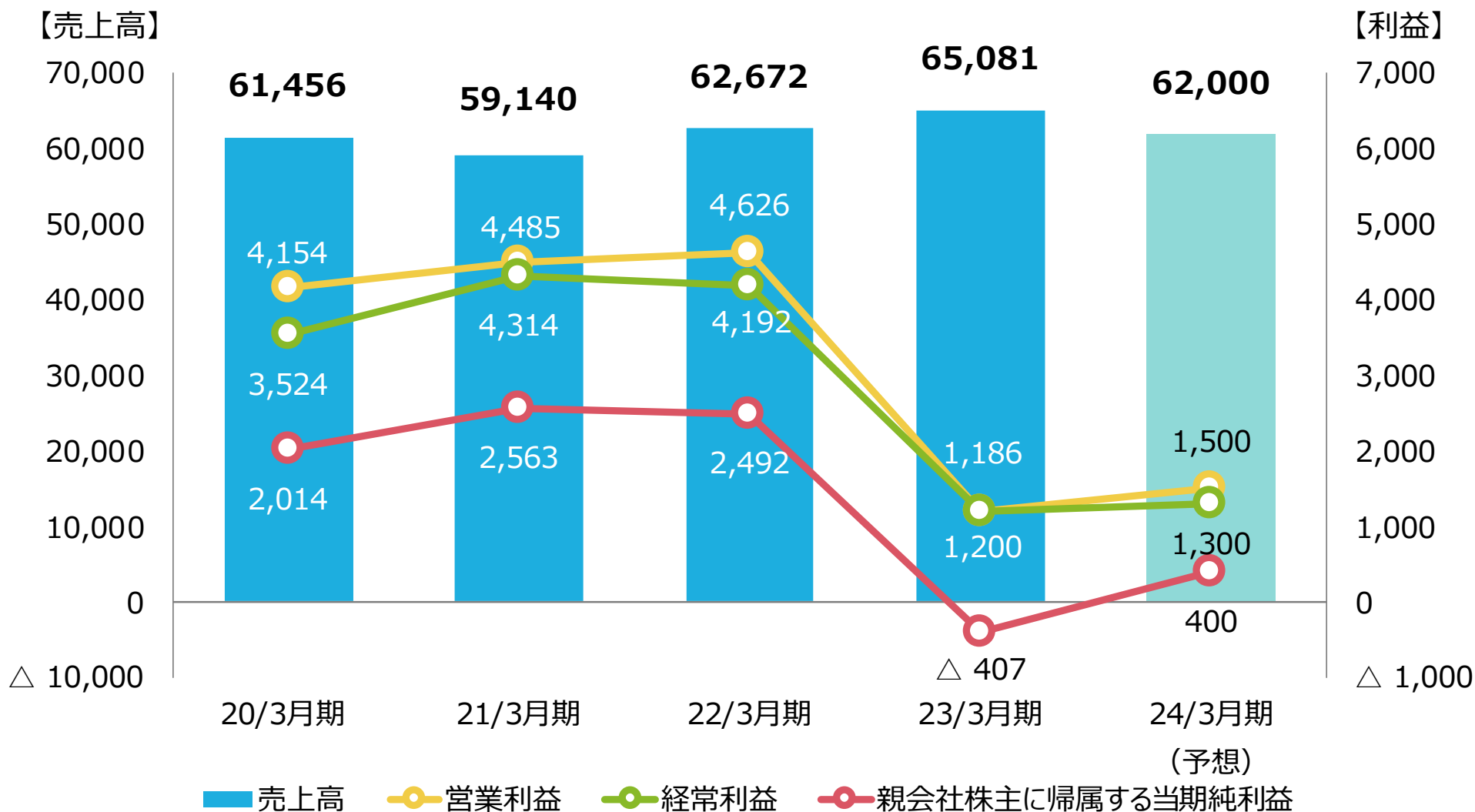
## 2. 短期の見通しと取り組み



# 連結 連結業績推移および予想



(単位：百万円)



# 連結 当社を取り巻く環境(市況)



分野	状況	2024年 3月期
自動車・二輪	・国内外ともに販売は好調に推移	
情報通信	・ハイエンドサーバの需要は高く、さらなる拡大を見込む	
インフラ (鉄道)	・大型プロジェクトは計画より遅延も着実に進行	
ディスプレイ	・テレビ、パソコンともに個人消費が停滞 ・スマートフォンは低調が続く	
家電・住宅建材 (難燃剤)	・国内外ともに低調が続く ・難燃剤は、サプライチェーン上の在庫過多は解消されつつあり、底打ちから回復傾向にある	

## 具体的な対策

- ①需要増加への生産対応
- ②営業・研究活動の加速による次世代市場の開発
- ③原材料・エネルギーコストの価格転嫁

# 連結 セグメント別売上高予想

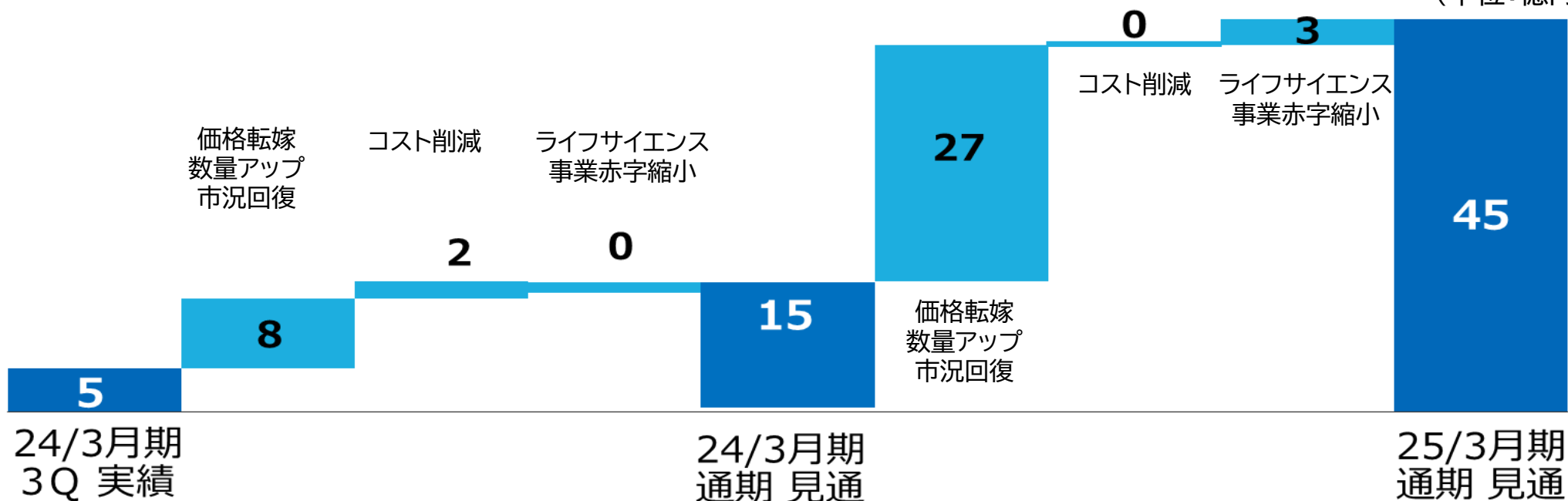


セグメント 単位：百万円	2023年3月期（実績）					2024年3月期（予想）					前期比増減	
	上半期	下半期		通期	構成比 （%）	上半期 （実績）	下半期		通期 （予想）	構成比 （%）	金額	増減率 （%）
		3 Q	4 Q				3 Q （実績）	4 Q （予想）				
界面活性剤	9,534	4,920	4,521	<b>18,976</b>	29	8,809	4,862	4,677	<b>18,350</b>	30	△ 626	△ 3
アメニティ材料	4,158	1,976	1,945	<b>8,079</b>	12	3,993	2,196	1,810	<b>8,000</b>	13	△ 79	△ 1
ウレタン材料	4,218	2,280	2,261	<b>8,761</b>	13	4,395	2,128	2,475	<b>9,000</b>	15	238	3
機能材料	11,518	5,423	5,632	<b>22,574</b>	35	9,231	6,007	6,061	<b>21,300</b>	34	△ 1,274	△ 6
電子デバイス材料	3,093	1,600	1,497	<b>6,191</b>	10	2,613	1,147	1,239	<b>5,000</b>	8	△ 1,191	△ 19
ライフサイエンス	242	132	123	<b>497</b>	1	157	91	100	<b>350</b>	1	△ 147	△ 30
合計	32,765	16,333	15,982	<b>65,081</b>	100	29,200	16,434	16,365	<b>62,000</b>	100	△ 3,081	△ 5

# 連結 セグメント別営業利益予想

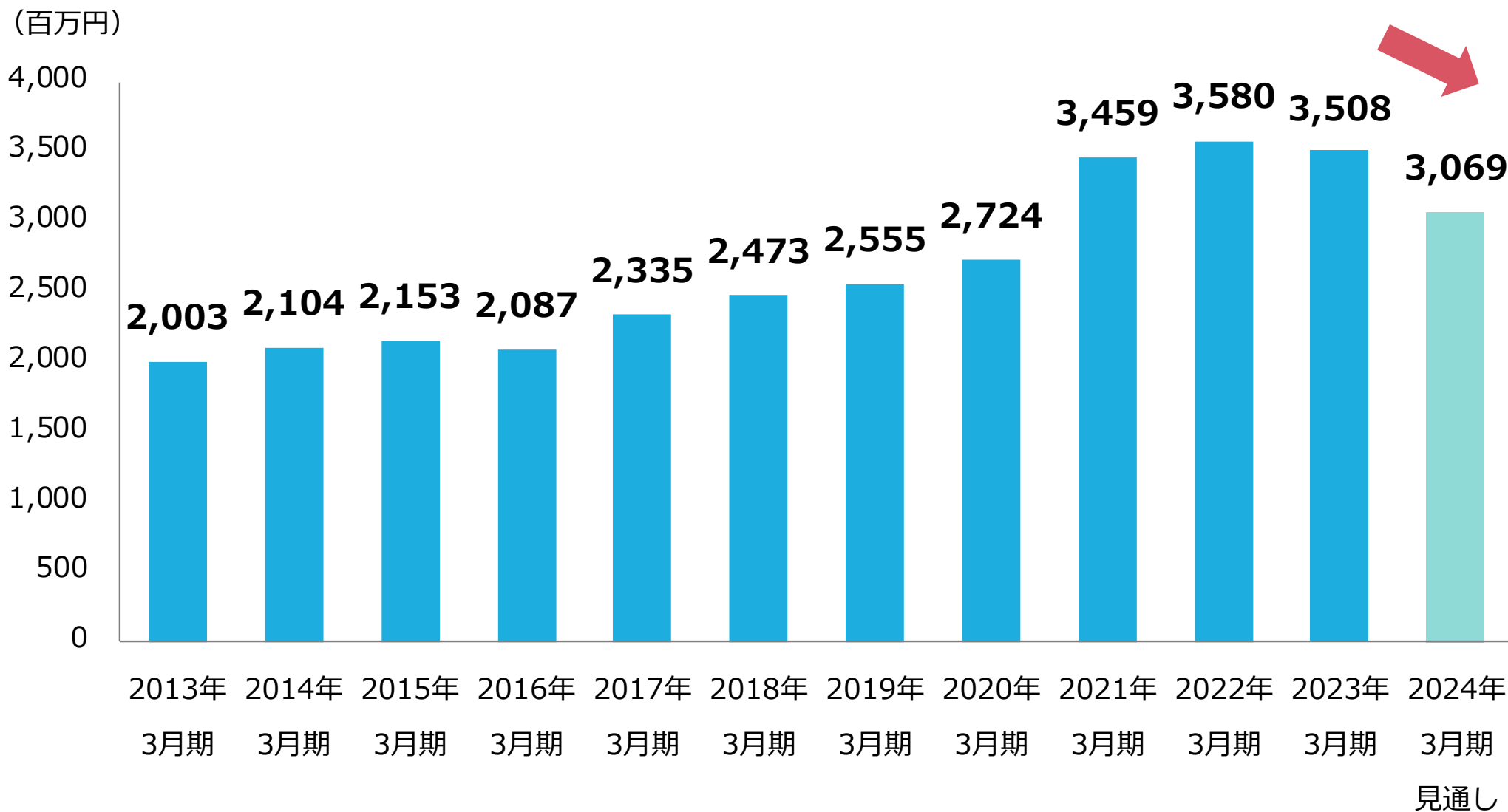


セグメント 単位：百万円	2023年3月期（実績）					2024年3月期（予想）					前期比増減	
	上半期	下半期		通期	構成比 （%）	上半期 （実績）	下半期		通期 （予想）	構成比 （%）	金額	増減率 （%）
		3 Q	4 Q				3 Q （実績）	4 Q （予想）				
界面活性剤	904	471	373	1,749	147	621	602	555	1,780	119	30	2
アメニティ材料	58	30	△ 90	△ 1	-0	75	134	129	340	23	341	-
ウレタン材料	△ 198	△ 28	△ 21	△ 247	-21	△ 196	△ 52	△ 40	△ 290	-19	△ 42	-
機能材料	248	△ 40	73	281	24	△ 407	537	540	670	45	388	138
電子デバイス材料	152	△ 4	△ 8	139	12	△ 60	△ 33	△ 26	△ 120	-8	△ 259	-
ライフサイエンス	△ 448	△ 157	△ 129	△ 734	-62	△ 482	△ 208	△ 188	△ 880	-59	△ 145	-
合計	717	271	197	1,186	100	△ 449	979	970	1,500	100	313	26

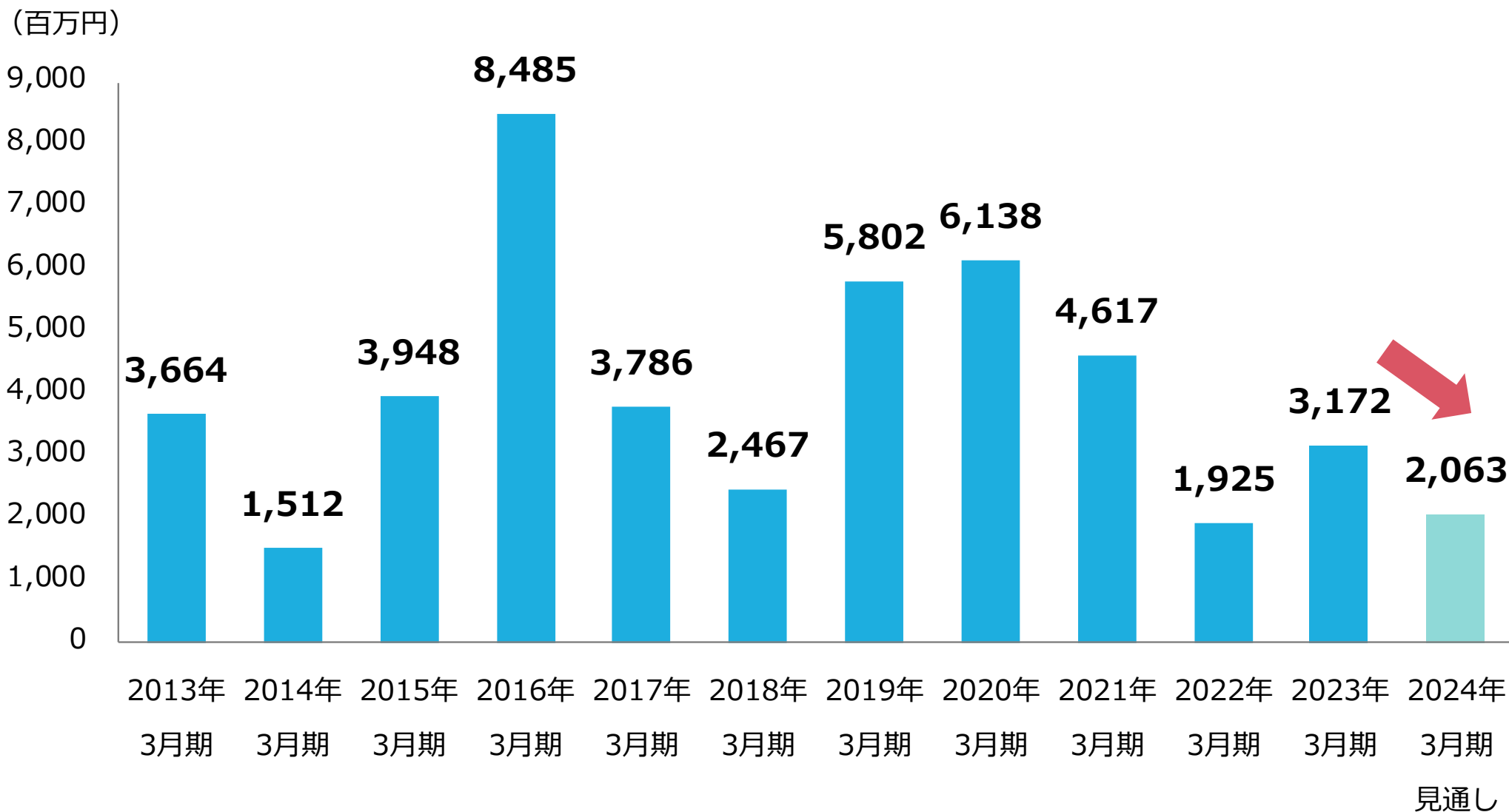


施策	具体的な取り組み	24/3月期	25/3月期
<b>2024年3月期第3Q実績・2024年3月期通期見通し</b>		5	15
<b>価格転嫁・数量アップ 市況回復</b>	①確実な価格転嫁による収益性改善 ②自動車・ディスプレイ・半導体周辺を中心とした電材分野の拡販、受託事業拡大 ③既存事業の需要回復	8	27
<b>コスト削減</b>	・人件費を含む経費全体の見直しによる削減	2	0
<b>ライフサイエンス 事業赤字縮小</b>	①快脳冬虫夏草、スダチン健康食品などのBtoC拡販 ②素材販売によるBtoB実績化 ③池田薬草 GMP認証活かした受託案件獲得 ④消臭・除菌スプレーの拡販	0	3
<b>合計</b>		<b>15</b>	<b>45</b>

# 連結 減価償却費の推移



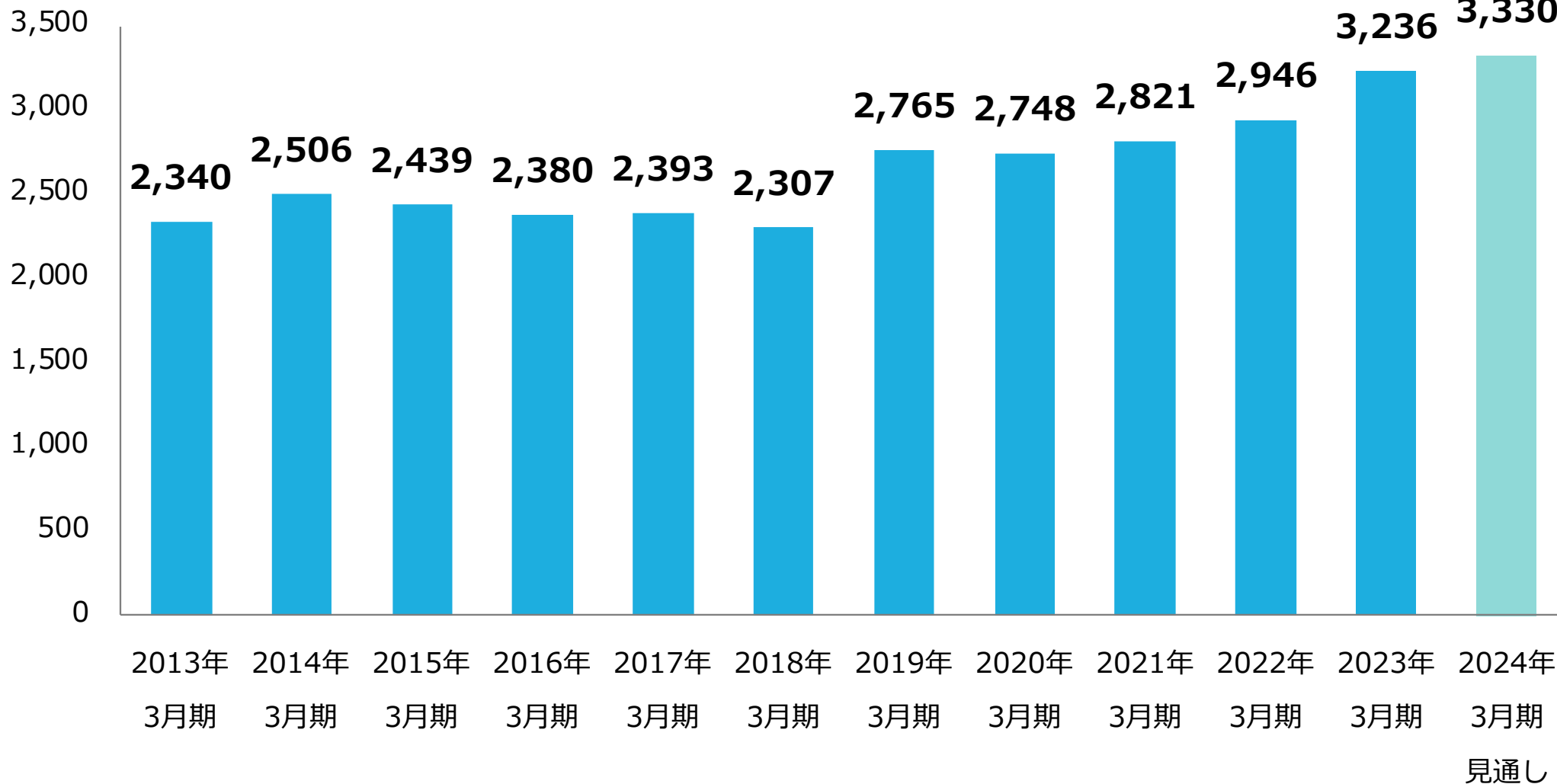
# 連結 設備投資額の推移



# 連結 研究開発費の推移



(百万円)





## ニオイを、瞬間キャンセル！消臭・除菌スプレー「NIOCAN®」

<2023年6月新発売>

生活のあらゆるニオイを中和消臭・除菌する  
スプレー「NIOCAN®」を発売しました。

臭気判定士(国家資格)がブレンドした9つの天然精油の香りが、リラックスや安らぎの瞬間を引き立てます。

有名百貨店、インバウンドに湧く高級ホテル  
チェーンなどに採用が進んでいます。

【詳細はこちらからも確認いただけます】

▼ NIOCAN ブランドサイト:<https://niocan.jp/>

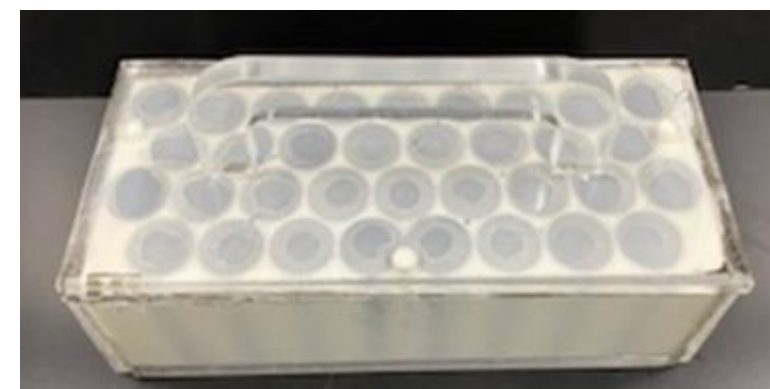
▼ DKS Life Science ONLINE STORE:<https://dkslife.jp>



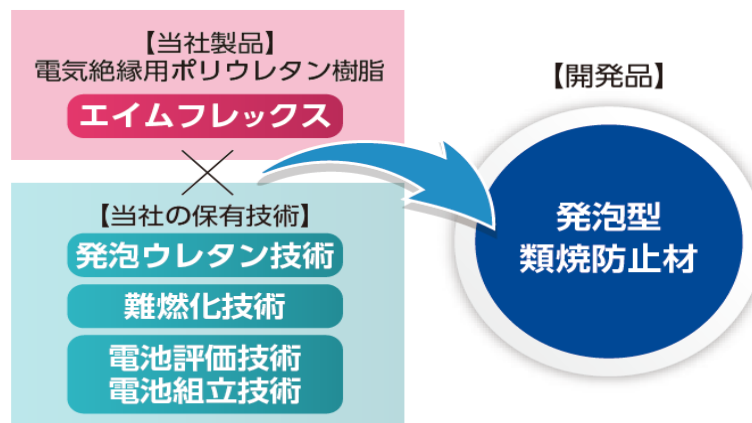
## リチウムイオン二次電池の発泡型類焼防止材を開発

電気絶縁用ポリウレタン樹脂「エイムフレックス®」に、難燃化技術、発泡ウレタン技術を組み合わせ、リチウムイオン二次電池の発泡型類焼防止材を開発しました。

普及が進む電気自動車や各種電池部材の軽量化と安全性向上に貢献します。



電池パック注入イメージ  
円柱部分がリチウムイオン二次電池模型。  
その周囲が発泡型類焼防止材。



Q1. 主力製品、期待される製品、苦戦している製品は何か

Q2. 値上げの進捗状況はどうか

Q3. PBR1倍割れの認識(2/20現在0.89倍)

Q4. ライフサイエンス事業の黒字化計画について

Q5. 来期、中期経営計画達成(連結営業利益45億円)への意気込み

## 3.2030年に向けたシナリオ

# 連結 2030年に向けたシナリオ

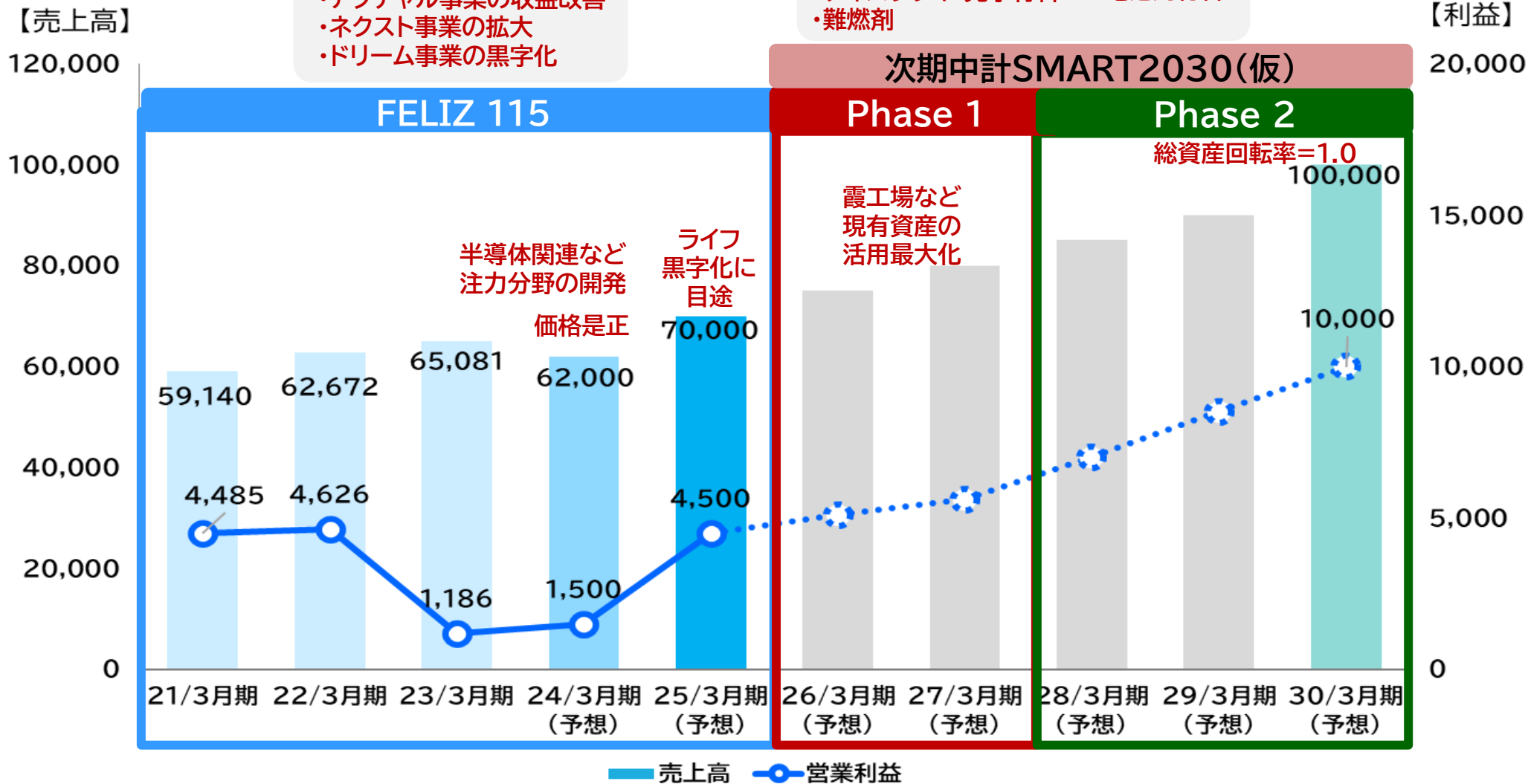


- ・アクチャル : 既存事業
- ・ネクスト : 周辺事業(既存技術から派生)
- ・ドリーム : 新規事業

- ・アクチャル事業の収益改善
- ・ネクスト事業の拡大
- ・ドリーム事業の黒字化

- ・半導体関連
- ・ディスプレイ・光学材料
- ・難燃剤
- ・糖誘導体
- ・電池用材料

(単位:百万円)  
【利益】



# 連結 2030年に向けた注力分野



## 事業領域

電子・情報



デジタル社会への貢献

環境・エネルギー



脱炭素社会への貢献

ライフサイエンス



健康社会への貢献

産業資材



循環型社会への貢献

## 注力分野トピックス

### 半導体・情報通信関連

- ✓ 半導体工程薬剤に用いられる**高性能洗浄成分有機アルカリ**の拡販
- ✓ **パワー半導体向け封止材料**の開発促進
- ✓ 次世代高速通信に対応した**低誘電材料**

### 電池用材料・電子制御材料

- ✓ サステナブル社会実現に貢献する**LiB電池用周辺材料**の開発
- ✓ 電子基板の性能・信頼性を支える**封止材 エムフレックス**の拡大

### 健康食品・脱臭/消臭

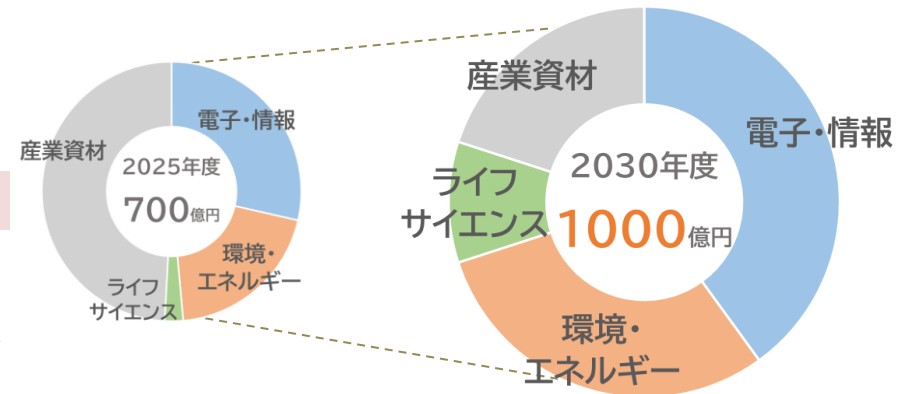
- ✓ 認知機能維持をサポートする**機能性表示食品 冬虫夏草**の拡販
- ✓ **NIOCAN**を代表とした「においビジネス」の拡大

### 非石化対応・カーボンニュートラル

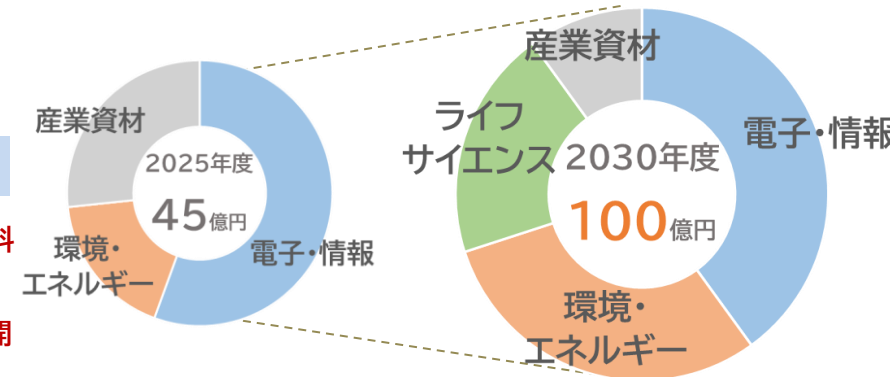
- ✓ 脱炭素社会へ貢献する**環境負荷の少ない天然由来原料**の活用 ex) 糖誘導体製品、生分解性樹脂添加剤
- ✓ コア技術である**界面活性剤技術**を**注力分野3分野へ展開**

## 事業規模 <注力3分野を拡大>

### 売上高



### 営業利益



※産業資材は、コア技術をもとに注力3分野へ展開を図る



事業領域と規模

## 電子・情報



ディスプレイ  
5G/6G通信部材  
パワー半導体封止剤  
光エレクトロニクス部材  
エッジデバイス

## 環境・エネルギー



電動車輛EV センサー  
バッテリー ソーラーパネル  
環境対応樹脂  
バイオプラスチック  
リサイクル

## ライフサイエンス



食品 健康食品 医薬品原料  
養蚕ビジネス  
においビジネス 代替食品  
ニュートリション

## 産業資材・その他



石鹼・洗剤 クリーニング 塗料  
樹脂 農業 農薬 化粧品 食品  
添加物 トンネル崩落防止剤 難  
燃剤 分散剤 乳化剤

技術

- ◇低誘電樹脂変性
- ◇酸化重合
- ◇低熱膨張難燃化
- ◇封止◇光硬化
- ◇熱伝導・放熱
- ◇ナノ粒子分散
- ◇屈折率制御
- ◇3Dプリント
- ◇有機アルカリ

- ◇接着◇剥離◇複合
- ◇フィルム化
- ◇粒子表面改質◇封止材
- ◇電子伝導◇イオン伝導
- ◇セルロース、糖・多糖誘導體
- ◇樹脂リサイクル

- ◇天然素材活用
- ◇乳化◇分散◇可溶化
- ◇粉末化◇抽出
- ◇CMO/CDMO
- ◇消臭◇脱臭◇除菌
- ◇バイオセンサー・診断

- ◇界面活性剤/設計・合成・配合
- ◇乳化重合
- ◇糖・セルロース誘導體
- ◇アルキレンオキサイド付加
- ◇水溶性高分子合成
- ◇ウレタン化
- ◇難燃化

強化技術:省エネルギープロセス 低環境負荷 バイオマス原料活用 フロー合成 計算化学・予測・機械学習

# PBR向上にむけた成長戦略と非財務戦略

～資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応～



## 2030年に向けた成長戦略

2024年

2025年

2026年

2027年

2028年

2029年

2030年

価格転嫁

ライフサイエンス黒字化に目途

売上高1,000億円、営業利益100億円

霞工場などの現有資産の活用最大化、工場稼働率アップ、販売数量の増加

注力分野の設備投資

ROIC ≥ WACC  
PBR = 1.0倍  
総資産回転率 = 1.0

半導体、情報通信、電池材料、ライフサイエンスなど注力分野の開発促進

## 非財務戦略

### ①ステークホルダーとの対話

- ・会社説明会などを通じた投資家と経営層との双方向対話(年間4回以上)
- ・株主還元の充実
- ・開示拡充と認知度アップ

### ②ESG、サステナビリティ目標の具体化

- ・サステナビリティ目標達成に向けた取組み強化
- ・人材育成等に関する非財務情報の積極的開示

### ③社員エンゲージメント向上施策

- ・人事制度刷新(等級、評価、賃金)
- ・キャリア形成醸成に向けた仕組みと教育体制の構築
- ・社内表彰制度の見直し
- ・健康経営戦略マップに基づく施策の実行(従業員の健康維持、向上)

### ④多様な人財の活躍推進

- ・経営資源再配分の実施
- ・プロフェッショナル人材確保に向けた新制度導入
- ・女性管理職比率目標(2025年12%以上)の達成

## FELIZ 115 底入れ

### ①原材料/エネルギー高の価格転嫁

- ・利益目標の70%に達する価格転嫁の完遂

### ②販売数量の増加

- ・次世代高速通信に対応した低誘電材料の拡販
- ・電子基板の性能・信頼性を支える封止材の拡販

### ③現有設備の活用最大化および工場稼働率アップ

- ・受託案件などの取り込みによる霞工場の活用最大化
- ・熱水抽出、乾燥技術を活用した受託案件の獲得(医薬品、健康食品の原料)
- ・現有資産の見直しや整理

### ④経費節減・コストダウン体制強化

- ・社長をトップとする委員会の設置と各種経費削減施策の実施
- ・DX推進による業務効率の向上、無駄の削減



この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。

それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画、予測したものであります。

実際の業績などは、今後のさまざまな条件、要素によりこの計画などとは異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。

第一工業製薬株式会社

広報IR部 IRグループ

TEL: 03-3275-0654 E-mail: d-ir@dks-web.co.jp